

スキル・能力（保育補助）		確認
※「そう思う」「できる」場合は確認欄にチェックを入れてください。		
1.コミュニケーション能力について		
1-1	誰にでも、誰とでも、朗らかに挨拶ができる。	
1-2	個人の判断で決めずに、担任の先生等に相談して保育上の問題を解決できる。	
1-3	指示を受けて保育するだけでなく、自分から現状を正確に報告し、次の保育に必要な指示を引き出すことができる。	
1-4	人の話を傾聴することができる。また、自分の意見を伝達することができる。	
1-5	事故発生時等において、正確に状況を報告し、迅速に行動することができる。	
2.協調性について		
2-1	チームワークを尊重し、他の保育士と連携して保育を行うことができる。	
2-2	他者の話（主に指導・助言・苦言）を、自分を高めるためのアドバイスとして、素直に受け入れることができる。	
2-3	子どもの安心・安全を第一に考え、子どもに優しく接するだけでなく、子どもの目線で保育することができる。	
3.柔軟性について		
3-1	思考や行動に柔軟性があると言われる。	
3-2	相手の出方に合わせた対応ができる（できていると言われる）。	
3-3	子どもを尊重し、一人ひとり丁寧に保育できる。	
4. 保育の仕事について		
4-1	子ども（おおよそ 20 kg までの子ども。個人差があるので、20 kg 以上の子どもを含む場合がある）を抱いたりおぶったり、その状態で移動することや立ち座りすることがある業務であることを承知している。	
4-2	子どもを保育している間、正座して座ることや、正座からすぐに立ち上がる等の動きがあることを承知している。	
4-3	棚の清掃や電球の取り換え等の雑務があり、脚立等に上ることがあることを承知している。	
4-4	業務内において、重いものを持ち、その状態で移動する場面があることを承知している。	
4-5	視野を広く持ち、子どもの動きに反応する必要がある場面があることを承知している。	
4-6	保育の中で職員からの指示を聞き取ったり、子どもの声に反応し速やかに行動したりする必要がある場面があることを承知している。	
4-7	子どもたちを保育するだけでなく、保育に関する雑務や清掃（排泄失敗の後片付け等）を含んでいることを承知している。	
4-8	保育の仕事は、子どもの体力強化のため、季節を問わず室内外での運動や活動があることを承知しており、その活動等ができる体力がある。	
4-9	園は、保護者と共に子どもを育てる役割があることを理解している。	

上記の内容について事実と相違ありません。

令和 年 月 日

氏名（自署）